

関東学院大学キリスト教と文化研究所公開シンポジウム

## 原発・エネルギー・環境問題とキリスト教の役割

### 割一『環境神学』の構築と課題（3）一

開催趣旨：

2011年（平成23年）3月11日（金）に発生した東日本大震災による福島原子力発電所の重大事故（メルトダウン）から約3年になる。この未曾有の大災害からどのように回復・再生すべきか、また、原発・エネルギー・環境政策を含めて今後どのような社会システムを構築したらよいかを基本的に考え直す必要がある。宗教界、特にキリスト教はどのような役割を果たすかが問われている。2011年度と2012年度に引き続き、原発・エネルギー・環境問題から見たキリスト教の役割を考える。ことに、新しい『環境神学』をどのように構築し実践すべきかその役割と課題を検討し、探究する。

1. 日時：2014年（平成26年）3月1日（土）午後2時～5時
2. 会場：関東学院大学金沢八景キャンパス・8号館1階103教室
3. 交通（京急電鉄金沢八景駅から徒歩約15分・関東学院循環バスで約5分）交通アクセスは、下記ホームページを参照されたい。

<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/modules/about1/index.php?id=6>

4. 講師兼パネラーと講演題目（仮題）：

- ① 山脇 直司（やまわき・なおし）（星槎大学共生科学部教授・東京大学名誉教授・哲学博士）：「原発・エネルギー問題から見た環境神学の課題—原子力時代の驕りの意味—」
- ② 劉 庭秀（ユ・ジョンズ）（東北大学大学院国際文化研究科准教授・日本マクロエンジニアリング学会理事・学術博士）：「東日本大震災の経緯と東北地方の今後の課題—被災地から見た震災廃棄物の適正処理と復興政策—」
- ③ 安田 八十五（やすだ・やそい）（関東学院大学経済学部教授・キリスト教と文化研究所研究員・工学博士）：「環境神学から見た原発・エネルギー問題への政策構想」

4. 主催：関東学院大学キリスト教と文化研究所（企画・「依存症と環境神学」グループ）
5. 参加希望者は、氏名（ふりがな）・所属・連絡先（電話番号・メールアドレス等）等を記入し、電子メール・ファックス等で下記あてに2月27日（木）までに申し込みをお願いします。なお、**申込み無くとも当日参加可能ですので、是非ご参加ください。**

6. 問い合わせ・連絡先：

関東学院大学キリスト教と文化研究所  
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

TEL：045-786-7873 FAX：045-786-7806

Email：[kgujesus@kanto-gakuin.ac.jp](mailto:kgujesus@kanto-gakuin.ac.jp)

HP：<http://kgujesus.kanto-gakuin.ac.jp/>